



# おとなり 隣国の“もしも”の備えを見てみよう！！

## 【中部技術事務所“旬な現場”災害対策用機械を見学】



中部地震津波対策  
技術センター

中部技術事務所



平成29年11月2日、【日本・中国青年親善交流事業 愛知県プログラム】の一環として  
中華人民共和国から30名の方が来日され、日本の災害支援活動について知っていただきました。

災害支援実績を交えて機械の説明



待機支援車・対策本部車とも  
室内の様子を見学



排水ポンプ車ではこれくらいの高さを  
汲み上げられます！！



土をすくい上げるたびに  
拍手が起こった  
無人化施工バックホウ・・・



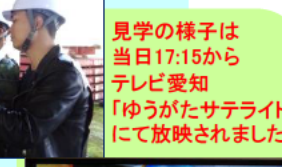
あんなに高いところから！！  
照明車



ドローンの操縦は  
誰もが楽しそう・・・



みなさんからたくさんの質問をいただき、日本の防災に対し、関心の高さが感じられました



見学の様子は  
当日17:15から  
テレビ愛知  
「ゆうがたサテライト」  
にて放映されました



日本と中国は過去の災害において幾度となく【お隣同士】で助け合ってきました。  
今回の見学がこれからの両国の災害支援活動の一助となって、“**花開く明るい**”(シャンシャン(香香))関係に発展することを祈念します。

※「日本・中国青年親善交流事業」とは・・・

昭和53年に日中平和友好条約が締結されたのを記念して、昭和54年から開始され、本年度で39回目。日本及び中国の青年が相互に相手国の各地を訪問し、  
青年との交流・産業・文化・教育施設訪問等、各種施設の訪問、ホームステイなどを行うことにより、両国青年相互の理解と友好の促進を図ることを目的に、日本政府と中国政府が共同事業として実施。  
今回は10月24日(火)から11月4日(木)までの間、東京都、広島県、愛知県を訪問、愛知県には、10月30日(月)から11月2日(木)まで滞在し、交流などを行いました。

